

NGSP の CPRL と一次基準測定施設(PRL)

ADA(American Diabetes Association :米国糖尿病学会)は、DCCT (Diabetes Control and Complications Trial)値をもって、カットオフポイント、治療目標等の Interpretation Norm を決めています。そのため、DCCT 値を維持することが NGSP の重要な使命となっています。

この DCCT 値の維持は複数の PRL (一次基準測定施設)で行われており、PRL を代表するのが CPRL です。CPRL のバックアップラボとして複数の PRL が存在しており、互いに確認し合うことで値を維持しています。平成 27 年 4 月より極めて優れた技術と 20 年におよぶ標準化への貢献が認められ、PRL に指定され、NGSP の中核ラボとなりました(APRL)。

当機構は現在、DCCT、UKPDS における基準として用いられた Bio-Rex 70 HPLC 法により、DCCT 値を測定できる状態にあります。

NGSP の二次基準測定施設(SRL)

検査医学標準物質機構(ReCCS)はメーカーおよびラボラトリーの認証試験を行う二次基準測定施設(SRL)です。

現在メーカーおよびラボラトリーの認証試験を行う NGSP の二次基準測定施設(SRLs)は、世界中に 11 の SRLs が存在します。

ASRL #1 では KO500 法を用いて HbA1c を測定します。NGSP NETCORE は CPRL による比較試験を毎月実施しており、当機構の測定値が維持されていることを立証されています。

検査医学標準物質機構は 2011 年 9 月に KO500 法を用いて SRL に認定され、ASRL#1 (Asian Secondary Reference Laboratory #1)として認証試験を行っています。

ASRL#1 は現在、世界中の 35%以上のメーカー方法および 130 ラボラトリーの中に 9 ラボラトリーを認証しています。

